

パンフレット番号	問合せ先	電話番号
20273-215	株式会社クイックパック	0564-59-3525

呉須

ごす

日本の伝統的磁器の呉須、染付とまったく同じ技法である。吸水性のある素焼素地面に水溶性のコバルト質絵具で描く。うわぐすりを掛けてから本焼窯で焼成するが、その温度が高いために絵具は素地にしみこみ、渋味のある冴えた色になる。

呉須正倉院

3H/7152
20cmケーキ皿
¥21,000 (本体 ¥20,000)
6C/7152
カップ&ソーサー
¥29,400 (本体 ¥28,000)
190cc



大倉陶園

伝統技法

漆蒔

うるしまき

白生地の上に漆をぬり、しばらく乾かして表面をすこし固くする。上絵具の粉を漆の上に蒔き、綿で軽く擦って絵具を漆層の中に沈める。普通の上絵付と同じように絵窯で焼成すると、光沢のある色無地の絵付が完成する。

この漆蒔の技法は複雑な形の生地面にも絵具を一樣に付けられるのが特長である。数種の絵具でこの工程をくりかえせば、独特の味のある蒔絵ができる。



ピンク蒔き

3H/1091-1
20cmケーキ皿
¥7,875 (本体 ¥7,500)
1C/1091-1
カップ&ソーサー
¥10,500 (本体 ¥10,000)
225cc



エンボス

emboss、浮彫

成形生地にローラーで模様を押し、その模様の上だけは釉を施さずに本焼をする。

本焼後の白生地のエンボス模様の上に金を焼き付けると、浮彫模様がくっきりと金色に輝く。ヨーロッパの陶磁器装飾法の一つである。

クラウン

3H/2003
20cmケーキ皿
¥13,650 (本体 ¥13,000)
6C/2003
カップ&ソーサー
¥21,000 (本体 ¥20,000)
190cc



るり

瑠璃

るりの加飾方法には、2通りある。白生地の上にコバルト質絵具をむらなく付け、さらに本焼窯で焼き付ける方法とるり釉を素焼きに施し、本窯で焼く方法がある。釉面は一樣にコバルト質絵具が溶け、光沢のある深い紺青色になる。



ルリ片葉金輪

3H/9046
20cmケーキ皿
¥13,650 (本体 ¥13,000)
6C/9046
カップ&ソーサー
¥21,000 (本体 ¥20,000)
190cc



上絵付

うわえつけ

白生地の上に絵を手描き、又は転写で絵をつけ、絵窯で約880℃の温度で焼き付ける。本焼窯よりはるかに低い温度である。日本の伝統的上絵付技法と異なり大倉陶園では絵具を油で溶いて描くので多様な調子のある絵を表現できる。

クラシックローズ

3H/5501
20cmケーキ皿
¥21,000 (本体 ¥20,000)
6C/5501
カップ&ソーサー
¥26,250 (本体 ¥25,000)
190cc

